

佐賀県警へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を5千部寄贈

～県内で多発する高齢者事故の防止に向けて協力を確認～

一般社団法人日本損害保険協会佐賀損保会(会長:岩田 高明 東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店長)では、11月20日(水)、佐賀県警へ高齢者事故防止啓発チラシおよび、反射材(ブラックほたるくん)を5千部寄贈しました。

始めに岩田 佐賀損保会会長から、「佐賀県内の交通事故死亡者数は23名と昨年に比べ、16名増加しています。そのうち65歳以上の高齢者の死亡者数が15名と、全体の約3分の2を占めている状態となっています。これからの時期は日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発していることから、佐賀県警の皆様から、本日寄贈したチラシにより高齢者などに注意喚起いただくとともに、ドライバーから歩行者の早期発見につながる反射材を配付いただき、交通事故防止に役立てていただきたい。」と挨拶がありました。

チラシ等の贈呈を受けた佐賀県警察本部 前川 直 交通部主席参事官から、「県内の交通事故発生件数は前年に比べて23件と急増している。歩行者事故の9件中8件が高齢者の方が絡む事故となっており、ほとんどが夜間に起こっていることが特徴として挙げられるため、寄贈いただいた反射材は高齢者およびその家族に届けたい。」とのお礼の言葉をいただきました。

佐賀損保会では、引き続き、県警等との協力関係を深めながら、今回のような高齢者事故の防止活動をはじめとする交通事故防止活動に取り組んでいきます。

* 下記 URL からポスター、チラシ (PDF) をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kyushu/2024/2412_chirashi.pdf



贈呈の様子



寄贈式記念写真